

会議結果概要

令和7年7月29日作成

会 議 名	前橋市清里公民館運営推進委員会 令和7年度第1回委員会
日 時	令和7年7月28日（月）午後3時～午後3時50分
場 所	清里公民館 会議室
出 席 者	（委員） 鈴木吉郎、石山勇吉、笠井弘雄、岩崎琢郎、関根和江、馬場隆雄、吉澤栄美子、山岸菜恵子（計8人） （公民館）根岸、山口（計2）
協議内容	※館長より委員会についての説明 1 開会 清里公民館長 2 委嘱状の交付 委嘱した8名の委員へ交付 （当日欠席となった石関委員には後日交付） 3 自己紹介 各委員及び事務局員の自己紹介 4 正副委員長の選出 委員長には鈴木委員（自治会連合会会長）、副委員長には石山委員（青少年健全育成会会長）が選任された。 5 委員長あいさつ 鈴木委員長 6 協議事項 鈴木委員長が議長となり、協議を行った。 （1）令和7年度清里公民館運営の方針及び事業計画等について 会議資料に基づき公民館長から説明。 委員からの承認を得た。 【主な意見】 （委員）資料記載の事業以外にも申し出があった場合、組み入れてもらうことは可能か。年配や小さい子を対象とした講座を企画しているが、小学生程度の者を対象としたもので目を引く講座があれば良いと思う。小学生の子どもたちが少人数でダンスをやっているのを見かける。専門家の指導を受けられると良いと思う。 （館長）夏休み教室は小学生を対象とした講座として実施し、年明けには清里小5年生を対象とした「きよさと焼教室」を実施しているが、その他の時期にも良い企画があればぜひ提案していただきたい。 （委員）夏休み教室もそうであるが、普段でも公民館を地域の子どもの場として確保していただいてありがたい。 （委員）最近、eスポーツも流行っているようである。 （委員）地区社協では、健康寿命を延ばす教室として公民館と共にボールウォーキング教室を実施しているが、他にも行事を検討しているので、決まったら協力をお願いしたい。

(委員) ポールウォーキング体験教室は、昨年度も参加し、上青梨子町のふれあいサロンでも春に実施してみた。いろんなところで体験できる機会を増やすと良いと感じた。

防災講座は昨年度に参加したが、防災倉庫の中を初めて見るのができ、どのような防災グッズが保管されているのかを確認することができた。過去には大雨で道が川のようなことにあったこともあった。そのような地元の方の体験談を聞くのも良い。

(委員) 少年の日フェスティバルは例年12月に実施していたと思うが今年は11月29日に実施するようであるが、開催時期を変更したのはどのような理由があったのか。

(委員) 子ども会では12月にカルタ大会の予選会が始まったり、また、クリスマスイベントを実施したり、廃品回収を行ったりして行事が多く、開催時期の前倒しを要請した経緯がある。

(委員) 委員会の開催時期が7月と3月であるが、第1回が4月ではない理由はなぜか。

(館長) 4月に新年度職員体制となり、各担当者が年間行事を組み立てるが、優先される地域行事の開催日の決定を受けてから調整を行うため、例年7月に第1回の委員会を実施している。

(委員) 3月は実績報告の会議とのことであるが、次年度の計画に向けての意見や提案を行うことも可能であるか。

(館長) 可能である。極力意見を反映した形で新年度の計画を策定していきたい。

(委員) 清里公民館の売りは、他の所と違うものはどんなことであるか。

(館長) 地域資源の活用という観点で、清里地区には農地があり、地元の特産物である枝豆や玉ねぎなどを活用して創作された「きよさと焼」があり、まちづくり協議会の協力の下、枝豆の種まきから、収穫、そして、「きよさと焼」として調理するなど一貫した取り組みとなっている。また、清里地区には、前橋西高や前橋高等特別支援学校があり、学校との連携した取り組みや、さらに、福祉施設も多くあることから、福祉関係においても連携した取り組みを行っていることが特色である。

(委員) 「きよさと焼」は、5年生の授業として取り入れており、地域で体験学習ができることは有難い。

(委員) 清里のように地区内に小学校・高校・特別支援学校がある地域も珍しい。学校との連携を深めて活動していただきたい。

(2) その他
特になし。